

令和7年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
日常生活活動学Ⅰ		講義	堂脇 ゆかり	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
リハビリテーション医学の中でADLは大きな領域をしめる。リハビリテーションチームの一員である理学療法士として、活動の視点から障害を捉えていく。日常生活活動学ⅠではADL総論として概念、障害との関連、評価法などについて学習する。また、車いす、杖などADLを支援する機器についても学習する。				
授業の到達目標				
1. ADLの概念を理解する。 2. ICFを習熟する。 3. ADL評価の意義・項目・方法を理解し実施できるようになる。4. 車いす、各種杖についての知識を深める。				
授業計画				
回	内容			
1	ADL概念と定義			
2	ADLとQOL			
3	ICF① 構造			
4	ICF② 特徴			
5	ADL評価の目的・意義			
6	代表的な評価法① B.I.			
7	代表的な評価法② FIM			
8	代表的な評価法③ FIM			
9	代表的な評価法④ その他の評価法			
10	杖① 種類			
11	杖② 車いす①			
12	車いす②			
13	車いす③			
14	車いす④			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	80%			
レポート・課題	10%	ノート・課題の提出 期限の遅れや内容に不備があれば減点する		
小テスト				
平常点	10%	授業への参加態度など		
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
標準理学療法学専門分野 日常生活活動学・生活環境学 第6版		鶴見隆正・隆島研吾 編集	医学書院	
実践リハビリテーションシリーズ脳卒中の機能評価SIASとFIM(基礎編) 1版		千野直一 他編著	金原出版	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
標準理学療法学専門分野 理学療法評価学 第4版		内山靖 編集	医学書院	
理学療法概論テキスト 第4版		監修 細田多穂	南江堂	
自由記載				
備考				